

◎ 給食費の公会計化に伴う額の決定について

1 給食費の決定方法

横須賀市学校給食運営審議会における給食費の額についての答申を受け、市議会の意見も伺ったうえで教育委員会としての案を決定し、市長との協議を経て、市長が決定する。

2 給食費の決定スケジュール (案)

時期	内容
10月10日	第1回横須賀市学校給食運営審議会開催 (給食費の諮問)
11月6日	横須賀市PTA協議会役員会で意見聴取
11月13日	横須賀市PTA協議会地区部会長会で意見聴取
11月17日	教育委員会11月定例会で「給食費の公会計化に伴う額の決定について」経過報告
11月22日	第2回横須賀市学校給食運営審議会開催 (給食費の答申)
12月8日	中学校完全給食実施等検討特別委員会で「給食費案」報告
12月15日	教育委員会12月定例会で「給食費案」議決
平成30年1月上旬	総合教育会議で「給食費案」を報告し、方針を決定
平成30年1月中旬～	保護者等へ給食費の額を周知
平成30年2月～3月	3月定例議会で平成30年度予算案審議
平成30年3月	予算案の議決を経て、横須賀市給食条例施行規則を制定 (予定)
平成30年4月1日	横須賀市給食条例施行規則施行 (予定)

### 3 現在の給食費の額

(参考) 第1回横須賀市学校給食運営審議会配布資料2のP2

区分	基準回数	1食平均単価	月額	年額	備考
①小学校児童	190	230	4,000	44,000	
②ろう学校児童	190	230	4,000	44,000	小学校児童と同額
③ろう学校生徒 (中学校・高校)	190	280	4,800	52,800	必要な栄養価の観点から 小学校児童の1.2倍
④ろう学校幼児	190	190		36,100	ろう学校幼児は栄養価の観 点から小学校児童の0.8倍 (対象者数が少数のため、 月額の給食費の設定なし)
⑤養護学校児童生徒	181	240	4,000	44,000	養護学校は喫食数が9食 少ないが、養護学校児童 生徒が喫食できる献立での 提供のため、1食単価が 高く月額の給食費は小学校 児童と同額
⑥教職員 (養護学校・ 中学校以外)	190	280	4,800	52,800	喫食量の観点から小学校 児童の1.2倍
⑦養護学校教職員	181	290	4,800	52,800	養護学校は喫食数が9食 少ないが、養護学校用の 献立のため、1食単価が 高く月額の給食費は他の 教職員と同額
⑧中学校生徒 教職員	148	52	700	7,700	牛乳のみ(実費相当分)

#### 4 平成 30 年度給食費案

(参考) 第 1 回横須賀市学校給食運営審議会配布資料 2 の P 3 ~ P 7

##### (1) 小学校・特別支援学校

第 1 回運営審議会では、事務局から以下の 3 案を提示して、それらの案をベースに議論がされた。

案 1 給食費据置

案 2 1 食単価 10 円 (月額 100 円) の値上げ (現状の栄養価維持の献立)

案 3 1 食単価 30 円 (月額 500 円) の値上げ  
(国の基準まで栄養価を高めた献立)

##### (2) 中学校

第 1 回運営審議会では事務局から給食費据置 (完全給食実施時に検討) 案を提示した。

(中学校は牛乳のみの提供で、牛乳単価の値上がりは想定されるが、提供回数で調整可能なため)

#### 5 小学校・特別支援学校の給食費についての第 1 回運営審議会での意見

○案 1 についての意見は特になかった。

○案 2 については以下の賛成意見があった。

- ・給食の質を落としてほしくはないので案 2 か案 3 がいいと思うが値上げ額を考えると案 2 が妥当
- ・それぞれの家庭の経済状況もあり、また子どもが 2 人や 3 人いる家庭の状況も考慮すると、月額 500 円の値上げは厳しい。
- ・500 円値上げをすると県内最高水準 (運営審議会配布資料 3) となり、保護者の理解を得にくい可能性がある。

○案3については以下の賛成意見があった。

- ・100円の値上げでは大きな変更はできず、数年後にすぐ見直しをする必要が出てきてしまうと思うので、値上げは厳しいが上げるのであれば500円上げるのがよい。
- ・案2にして栄養価を維持しても、国の基準を下回っている栄養価があるので案3まで給食費を上げる必要がある。
- ・会議の前に保護者に意見を聞いたところ案2が多かった。  
ただ自分としては、毎年少しずつ上げるのであれば500円上げて500円上げた理由をきちっとアナウンスできればいいと思う。

## 6 横須賀市PTA協議会役員会・地区部会長会での意見・質疑

### (1) 意見

- ①いきなり月額500円の値上げは厳しいので、段階的に上げることも検討したらどうか。
- ②栄養価の観点から給食費据置はあり得ない。  
そのため給食費の額をいくら上げるかの議論となるが、その際100円の値上げと500円の値上げの間の案もあったほうがよかったと思う。
- ③値上げ前の献立と値上げ後の献立の比較ができれば、イメージがわきやすいので次の審議会ではそういった資料も提示して議論したほうがいい。
- ④給食費の議論をする際には、まず横須賀市の子どもたちにどのような給食を提供したいのかという議論をしっかりとし、そのためには給食費の額をいくらにするべきかというポジティブな決定方法をとってほしい。
- ⑤役員会后、他の保護者に意見を聞いたところ多くの保護者が案3に賛同していた。値上げ前後の給食の献立や栄養価をしっかりと示せば保護者の理解を得られるのではないかと感じた。

## (2) 質疑

①給食の量が違うので給食費の額を低学年、中学年、高学年ごとに設定することは可能か。

⇒私会計時の給食費の設定方法は6年間通じた平均額とするという考え方で一律で中学年の給食の量をもとに決定していた。

学年に応じた給食費の額を設定することも可能だが、公会計に移行する際には私会計時の考え方を引き継げるところはそのままとし、保護者にもわかりやすい制度設計としていく必要がある。

そのため、来年度の給食費の額については一律を予定している。

②給食費の額を値上げすると給食費を払えない家庭が増えるので、そういう世帯に市が扶助したらどうか。

⇒私会計時にも、保護者の所得に応じて生活保護制度や就学援助制度により扶助しており、公会計化後もその制度は継続する。

なお、国でも給食費の無償化の検討を始めているが、まだ具体的な方向性は示されていない。

## 7 学校給食運営審議会での今後の審議について

横須賀市PTA協議会等、各運営審議会委員が所属する団体等から聴取した意見も踏まえ、第2回横須賀市学校給食運営審議会(11月22日開催予定)では、議論を深め、給食費の額についての答申案をまとめてもらう予定